

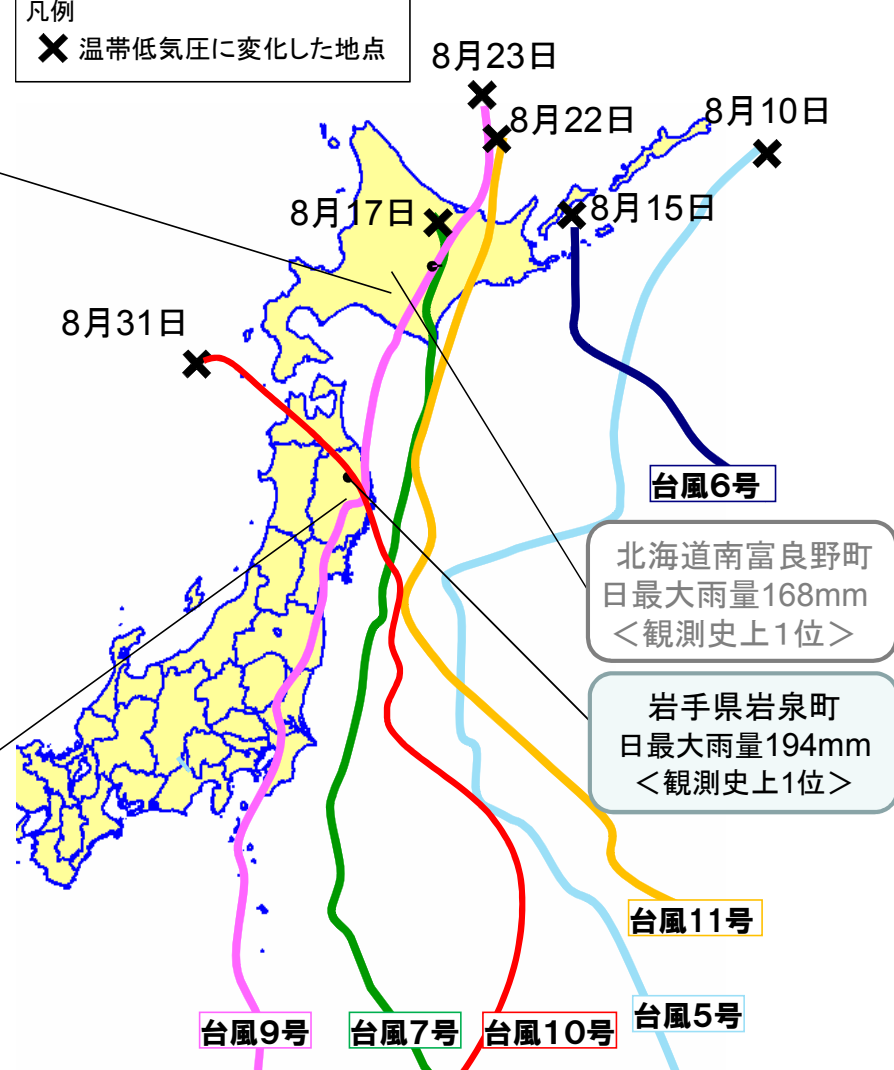
台風による被災及び復旧状況

平成28年8月の台風の経路と主な雨量

○8月に6つの台風が東日本に上陸または接近。このうち北海道には1週間で3つの台風が上陸。
 また東北地方の太平洋側に台風10号が上陸。いずれも統計の記録を開始した昭和26年以降、初めての記録。
 ○北海道南富良野町(磯寅観測所)では、8月の平年降水量161mm/月を超える雨量168mm/日を1日で観測。
 岩手県岩泉町では、8月の平年降水量157mm/月を超える雨量194mm/日を1日で観測(いずれも観測史上1位)。

○平成28年8月の台風経路

凡例
 ✕ 温帯低気圧に変化した地点



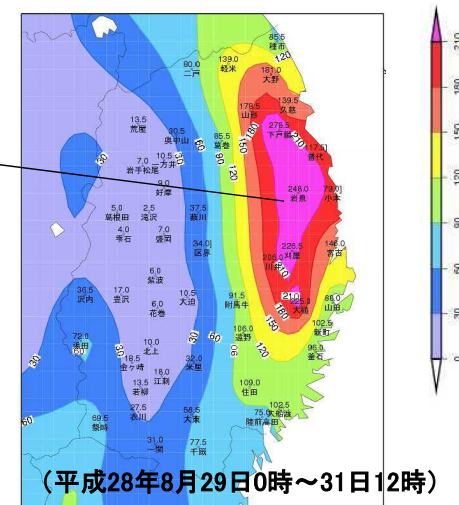
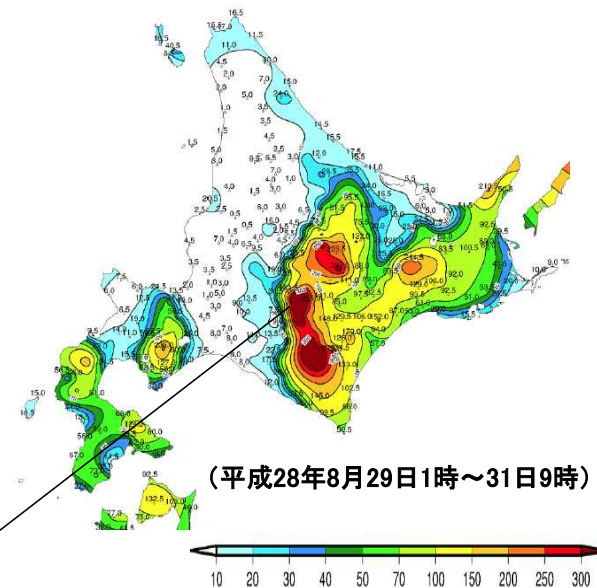
河川氾濫による
 国道274号の崩壊(北海道: 沙流川)



河川氾濫による冠水、
 道路崩壊(岩手県: 小本川)

○台風10号通過時の雨量

(アメダス降雨量分布; 日本気象協会)



○8月に上陸した台風により高速道路・国道・県道の280区間で被害が発生。特に台風10号による北海道と岩手県での被災が甚大。

○北海道では、河川の氾濫により、渡河する橋梁の落橋や橋台背面の洗掘、のり面崩落が多く発生。

○岩手県では、北上山地で急峻な地形にある河川の氾濫により、並行する道路が洗掘され道路崩壊が多く発生。

(北海道の被災の特徴)

○河川氾濫により落橋



○橋台背面の洗掘

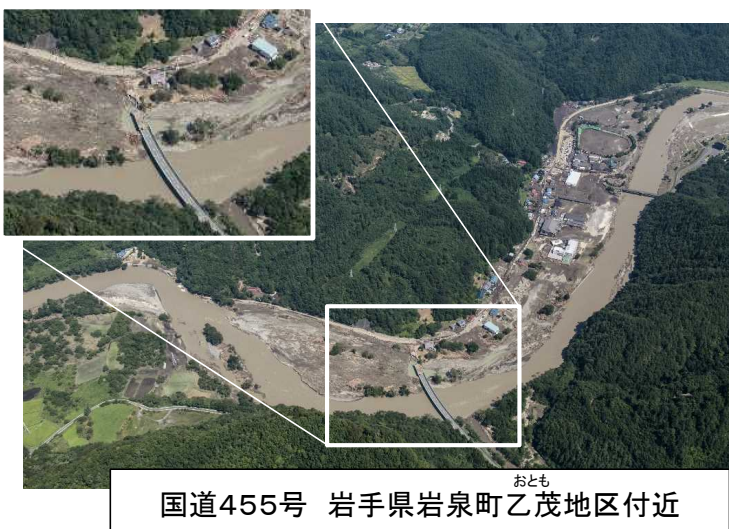


○のり面崩落



(岩手県の被災の特徴)

○河川氾濫による道路崩壊



○道路崩壊



○道路崩壊



【北海道】台風による道路関係の被災等状況

○台風10号により北海道内の高速道路1路線2区間(38km)、直轄国道9区間、道道60区間で被災し、8月29日から通行止め。現時点では、直轄国道3区間、道道13区間で通行止め(9月26日現在)。

○特に、日高山脈を越える道東自動車道、国道38号、国道274号に被災が集中。

→道東自動車道を58時間(2日強)で仮復旧し道央部の東西軸の交通を確保。(交通量は昨年と比べ平日で1.8倍)

(注:被災した国道と並行する区間で無料措置を実施)

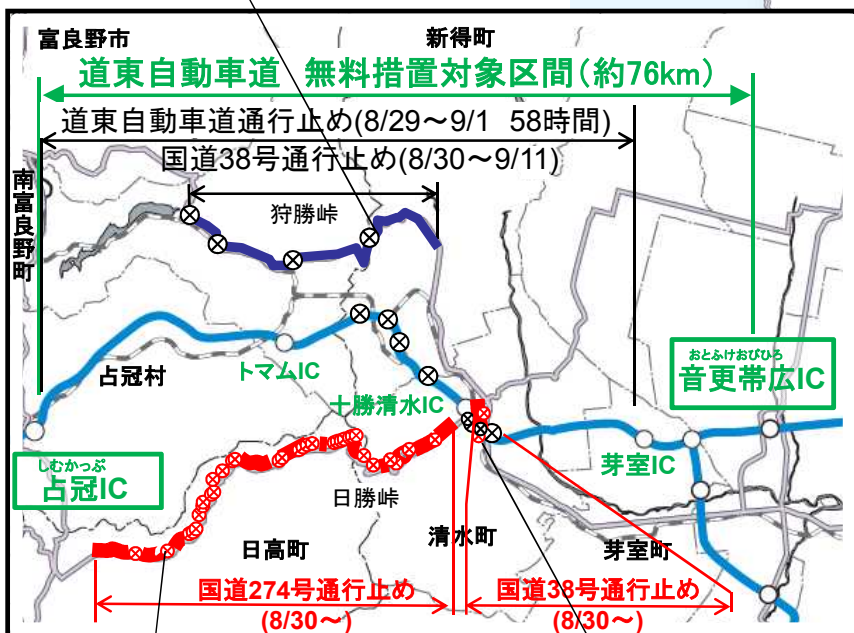
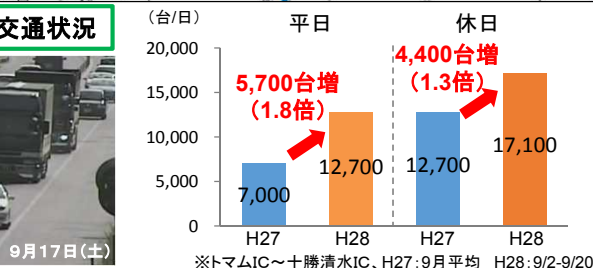


国道38号 狩勝峠 法面崩壊(9/11に一般車両通行可)



道東自動車道応急復旧状況

道東自動車道 交通状況



国道274号 千呂露橋・落橋仮橋にて復旧(9/13)



国道38号 小林橋・落橋仮橋にて復旧中

【凡例】

- ⊗ 応急復旧作業中
- ⊗ 応急復旧済
- == 高速道路(4車線)
- == 高速道路(2車線)
- == 国道(仮復旧済)

【岩手県】台風10号による道路関係の被災等状況

- 台風10号により岩手県内の直轄国道5区間、補助国道16区間、県道42区間で被災し、8月30日から通行止め。現時点では、県道5区間で通行止め(9月26日現在)。
- 特に、盛岡市等内陸部から太平洋沿岸部に通じる東西軸(国道281号、国道455号、国道106号等)で道路崩壊など甚大な被害が多数発生。
- 復旧までの間の広域迂回が発生するなど、災害時の道路ネットワークの脆弱性が明らかとなった。



国道281号: 久慈市山形町下川井
土砂崩落: 9/13より一般車両通行可



県道普代小屋瀬線: 岩泉町安家
河川による道路崩壊
9/7に専門家が現地調査を実施



国道455号: 岩泉町乙茂地区: 道路崩壊

TEC-FORCEが道路啓開を実施し9/8より一般車両通行可

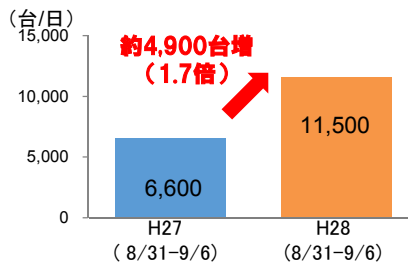


国道106号: 宮古市暮目: 道路崩壊

TEC-FORCEが道路啓開を実施し9/10より一般車両通行可



東北横断自動車道釜石秋田線 仙人峠道路



- 【凡例】
- ⊗ 応急復旧作業中
 - ⊗ 応急復旧済
 - == 高速道路(4車線)
 - == 高速道路(2車線)
 - ⋯ 事業中
 - 国道(仮復旧済)
 - 県道(復旧作業中)
 - 県道(仮復旧済)

- 自治体管理の道路の被災状況の把握、調査、および道路啓開作業を実施。
→道路関係の調査等に35班1302人日が従事するとともに、ドローンやヘリを積極的に活用。(9月16日現在)
- 県管理道路(国道106号、340号、455号等)の啓開にあたっては、幹線道路として早期に啓開が必要な区間や技術的に困難な区間を国が担当し総力を挙げて作業を実施。

○テックフォースによる状況把握



○被災調査(ドローンを活用)



○直轄による道路啓開作業

国道106号 岩手県宮古市



○被災状況会議(岩泉町役場にて)



○被災調査(ヘリを活用)

